

Rhymoe



から得る英語のリズム

音楽は、英語の音のかたまりの感覚、英語のリズムの感覚をつかむのに最適です。

なぜなら言葉と音楽のリズムは、非常に密接な関係にあるからです。

言葉ではなかなか覚えにくいことも、語呂合わせをしたりメロディをつけることで、覚えやすくなるといった経験はありませんか？

また音楽だと、歌ったり何回も繰り返して口に出すことで、より楽しくなります。

つまり英語を学ぶ時にも音楽を用いる、ということは非常に効果的なのです。

ただ、言葉のリズムを頭で理解するだけでは不十分で、身体を揺り動かして発することで身につきます。これが非常に重要なポイントです。

音が入ることで思わず身体が揺れ、自然と歌詞＝英語のフレーズを口ずさみたくなり、それが知らず知らずのうちに、身体で英語のフレーズを覚えることになります。

実際に子ども達と何度かおこなっていると、曲を流しただけでリズムに乗る姿が見られます。

「次はね～」と説明しなくても自ら手拍子したり、*Eggshaker*(マラカス)を振ったりと、それぞれがリズムを感じているようです。

慣れてくると「*Bounce Bounce Bounce*」とリズムを口に出し、自然と膝でリズムを取っている子ども...

「英語楽しい!」「*Rhymoe*いつやるの?」と毎回楽しみにしてくれています。

【まるで、英語が身体にしみ込んでいくみたい...】と、英語が自然に理解できるように感じるのが、*Rhymoe*です。



1月のRhymoe Activity 🧊

「雪が降ったら何したい...?」と聞くと必ずと言っていいほど「雪だるま作りたい!」と嬉しそうに話す子ども達。しかし十分に遊べるほどの量は滅多に降りません...。そこで、*Rhymoe*でも毎年おこなっていて大好評の「おうちで雪だるま作りごっこ」ができる、手作りの真っ白い粘土の作り方を紹介します★
家庭の台所にあるものだけで作れ、万が一子どもの口に入っても心配いりません。作り方も簡単で柔らかくて気持ちがいいので、ぜひ作って遊んでみてください。

※材料※

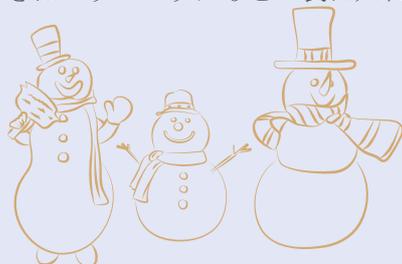
- 重曹 2カップ
- コーンスターチ (または片栗粉) 1カップ ※1
- 水 2カップ
- 米油 (またはオリーブオイル) 大さじ2 ※2

※1 コーンスターチだと柔らかく良く伸びる粘土、片栗粉だとさっくりとちぎることのできる粘土になります。

※2 オリーブオイルを使用すると、色が少し黄色っぽくなります。

※作り方※

- ①重曹とコーンスターチ、水をフライパンに入れ、木べらで混ぜながら粉に水をなじませる。
- ②油を加えて、中火にかけ、木べらで絶えずかき混ぜる。
- ③3分ほどしたら固形物が浮いてきて固まりだすので、少し火を弱めて手早くかき混ぜる。
- ④マッシュポテトのようになり一つの塊になってきたら火を止め、オープンシートなどにあげる。
- ⑤ラップまたは濡らして固く絞った布巾を粘土の上にかけて、常温になるまで冷ます。
- ⑥冷めたら何度かこねる。
- ⑦遊んでいる途中に固くなったら、手を水で濡らしてこねると柔らかさが戻る。
- ⑧保存するときはジップロックなどの袋に入れて空気を抜き、常温で保存する。2週間くらい使用できる。



🌟 [I'm a little snowman](#)

[ちいさな雪だるまの歌はこちらをClick](#)

(伊藤)